

科目名称：	観光マーケティング論	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
旅行業、宿泊業、鉄道、航空会社、テーマパーク、さまざまな観光産業がありますが、どこも旅行者に対して、なんとか自分の企業を選択してもらおうと考えています。どうしたら自分の所が選択されるのか、心理学的、社会的に分析します。		
授業の達成目標・到達目標		
一般的なマーケティングの手法の習得に加え、観光という事象に対応したマーケティングも理解すること、マーケティング調査ができる技術を身に付けることが目標です。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	50		30	20	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
チームでの話し合いについて	意見の少ない人にも発言を求めて、積極的に場を盛り上げた	自らは発言し、場を盛り上げる手助けをした	話し合いに参加し、相応の意思表示はできた	話し合いにいただけ、もしくは不参加
自分の考え方を発言出来たか	積極的に自分の意見を発表し、話し合いをリードした	話し合いにおいて発言者の意見に対し、自分の意見の表明は行った	他人の意見に賛成や反対の表明はできた	消極的な参加にとどまった
グループでの意見取りまとめについて	グループの結論を出すために、積極的にリードした	グループの結論を出すためにサポートした	グループの結論を出すために意見が言えた	関わらなかった
プレゼン作成について	自らリードして作成した	作成を積極的にサポートした	作成に多少関わった	関わらなかった

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 観光と社会の関わり	自分のこれまでの観光体験を箇条書きにする	40分
第2回 観光学とは：現代観光研究を概観し観光学を取り巻く現状を講義形式で理解	1週間分の新聞を読んで観光イベントの記事を集めてくる	30分
第3回 ターゲティングについての理解（商品特徴からターゲティングをしてみるグループワーク）	身近な商品のターゲットを考える復習シートの作成	30分
第4回 消費プロセスについてのグループワーク（個人の高額消費行動を分解してみる）	自分の商品行動を考える復習シートの作成	30分
第5回 商品流通についての理解	アマゾンの流通構造を分析する復習シートの作成	30分
第6回 価格戦略とスケールメリット	JTBとHISの違いを分析する復習シートの作成	30分
第7回 SWOT分析してみよう（アルバイト先をSWOT分析してみるグループワーク）	就職先をSWOT分析する復習シートの作成	30分
第8回 プロダクト・ライフサイクルを理解する	就職先のプロダクト・ライフサイクルを分析する復習シートの作成	30分
第9回 ブランディングとプロモーション（身近なもののプロモーションを考えてみるグループワーク）	気になる商品のプロモーションを分析する復習シートの作成	30分
第10回 消費者の心をつかむには：リレーションマーケティングを理解する	身近なリレーションマーケティングを分析する復習シートの作成	30分
第11回 実践マーケティングリサーチ（グループワークでマーケティングリサーチをやる）	好きなアーティストのマーケティングリサーチをやる	60分
第12回 マーケティングの問題点	日本版DMOについて関連情報を収集	30分
第13回 石川の観光1：石川観光について課題解決型グループワーク	石川観光の関連情報を収集しレポートにまとめる	30分
第14回 石川の観光2：石川観光についてプレゼンテーション	「石川の観光」についてのプレゼンテーション作成	90分
第15回 イベント失敗学：失敗学の立場から石川のイベントを検証する	県内の有名なイベントについてリストアップし、詳細をまとめる	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
各授業で提出させる復習シートを30%、グループワークのアクティビティを20%として評価する。

課題に対するフィードバック

課題へのコメントと、グループワークのアクティビティはルーブリックを配布。

教科書・参考書

森下晶美編著、『新版観光マーケティング入門』、同友館